

【緊急署名】ガレキ受入やめて@富山の コメント欄に寄せられた様々な方々の声

福島県民として日本のいかなる場所にも瓦礫を拡散してほしいとは全く思っていない。福島県外に出すべきではありません。たとえ福島県民への支援としてでも受け入れをしてはなりません。福島県民の多くが西日本から安全な食材を入手しようと大変な思いをしています。富山県が微量であっても汚染されてしまうことは福島県民を苦しめる事になります。どうか受け入れを拒否して下さい。(福島県)

私たち家族は福島県いわき市より安心して生活できる環境を求めて富山県へ避難してきました。食べ物飲み物等にも気をつけてできるだけ富山県産のものも選んで生活しています。お願いですこれ以上汚染地域を増やさないで下さい。これからの世代を被曝させてはいけないと思います。(富山県)

福島の子供や家族を家業・家族ごと市民、県民として受け入れてあげるのが本当の同じ日本人としての『痛み分け』では？おかしな『痛み分け』で次世代に健康も、健康な土地も残せないなんて、我々は最低、最悪の先祖になってしまっているのでしょうか？(神奈川県)

長女の嫁ぎ先である富山県へ、長男一家と共に孫を連れて富山県への移住を考えています。どうかどうか安全な場所を残しておいて下さい。富山が誇る、水、米、魚、無くさないで下さい。とても真面目で誠実な人間性の方が多いと、長女が申しております。賢明なご判断を下されると信じています。どうかよろしくお願い致します。(宮城県)

東京在住で、富山県産のコシヒカリを食べています。富山は放射能汚染の影響が軽微で安全な地域です。そこに放射性物質を持ち込むことは実に馬鹿げた、地域の自殺行為です。汚染がれきは、広大な福島第一原発敷地内をはじめとする高濃度汚染地域に隔離保管するほかありません。富山が汚染がれきを受け入れるなら、残念ですが富山産の産物は避けざるをえなくなるでしょう。観光でも行きません。外国人はさらにシビアだと思えます。被災地支援は他の方法でもできます。放射能を甘くみたらとんでもないことになります。(東京都)

富山地区広域圏グリーンセンターがある 立山町からの声

立山町在住です。瓦礫は東北の自治体が放射線量をチェックして出し、受入れる富山でも放射線量チェックするということですが、もし放射線量が高かったら誰が送り返すの？来た瓦礫は一度に燃やせませんから、何処へ置くの？焼却場のバグフィルターはダイオキシン、放射性物質を100%除去すると言われますが、それはできないのです。

グリーンセンター(家庭ゴミ専用焼却場)は立山北アルプスを水源とする常願寺川の河畔にあり、ここから放射能をまき散らす事になれば、海川森を汚染することに繋がります。燃やした灰は富山市呉羽カントリー近くの山本最終処分場に埋め立てられます。瓦礫を受入れる事は、富山のお米、魚、果物、野菜、畜産、水、空気など影響は多大です。だから反対です。

ノー・モア・放射能キャンペーン@富山

キャンペーン参加団体(2012年1月31日現在): 命のネットワーク・呉西、富山県平和運動センター、NAZEN北陸、能登原発防災研究会、平和をつくる富山県連絡会、放射能から子どもを守ろうin富山、孫たちに原発のない未来を渡したい高齢者の会、まわれ水車の会(50音順)



子どもたちの未来を守るために、 いま私たちにできること

市民の反対意見が少なければ、ガレキ受け入れは決行されてしまいます。

今、子どもたちは大きな危険にさらされようとしています。富山の皆さん、声をあげて立ち上がりましょう！

そして、全ての大人たちが目先のことにとらわれず、将来を見据えて、子どもたちを守るため行動しましょう！

署名する

反対署名を行っています。どうぞご協力ください。

- 別紙の署名用紙にご記入のうえ、郵送ください。
- インターネットでも署名を受け付けています。

【緊急署名】ガレキ受入やめて@富山
<http://www.shomei.tv/project-1886.html>

問い合わせる

- 富山県庁 生活環境文化部 環境政策課
☎(076) 444-3141
- 富山市役所 富山市環境政策課(廃棄物対策班)
☎(076) 443-2178
- 富山地区広域圏事務組合 ☎(076) 462-8311
- 市議会、県議会議員にも問い合わせを！

つながる

皆さんつながりましょう！一人の力は小さいけれど無力ではありません。ガレキ問題や放射能防御について話し合いませんか？ぜひご連絡ください。

「ノー・モア・放射能キャンペーン@富山」事務局
電話: 050-360-15176
メール: ujeac@grace.ocn.ne.jp

ママ、わたし、
ひばくするの？



知っていますか？このままでは富山に放射能汚染ガレキが持ち込まれてしまうこと。

ガレキは受け入れず、人を受け入れよう！ 汚染が深刻な東日本に、富山の安全な食料を届けよう！

放射能汚染ガレキの受け入れに反対しましょう！

富山県は3,000mを越す分厚く高い山脈によって県境が隙間なく囲まれているため、福島第一原発の爆発によって飛散した放射性物質の降下からまぬがれた土地であることが分かりました。

残念ながら、放射性物質は福島のみならず宮城や岩手にも大量に降下しています。放射能を帯びたガレキを受け入れて燃やせば、大気中に放出された放射性物質により富山の自然が汚染され、ガレキの運搬や焼却に関わる労働者の方々が被ばくし、またここに住む私たちも被ばくすることになります。

震災で甚大な被害を被った東北地方を支援したい気持ちは皆に共通しています。しかし、多くの税金を使ってガレキを移動させ、放射能の2次拡散を行うことが復興への最良の方法なのでしょうか？だからこそ、ガレキの処理がどのような問題を含んでいるか、日本の将来を担う子どもたちにどのような影響があるかをしっかりと認識する必要があります。



子どもたちの未来を守るために、**知ってほしい7つのこと**

1 子どもは大人の何倍も放射線の影響を受けやすい

- “ただちに影響はない”けれど、子どもたちの将来にかかわってくるのが「晩発性障害」なのです。数年後に、がんや白血病を発病する可能性があります。
- がんリスクは年齢に反比例するという子どもにとっては恐ろしい事実があります。30歳がほぼ平均値として、年齢が高くなるにしたがってリスクは減。逆に若くなるにつれて、リスクも増します。5歳では、平均の4~5倍も高くなります。

* 子どもを被ばくから守るためのサイト Moms to Save Children from Radiation『子どもたちを守るために、知ってほしい10のキホン』より

2 「低線量なら健康被害は殆どない」は、科学的根拠がない

- ICRPの基準策定の当事者自らが「低線量なら健康被害はほとんどないとする国際基準には、何の科学的根拠もない」と証言しています。

* NHK番組『低線量被ばく 揺らぐ国際基準』では、「低線量被曝による健康被害はほとんどないとする国際基準ICRPには、何の科学的根拠もない」ことが報道されました。

3 低い汚染のガレキでも、焼却すると濃縮される

- 見えない放射能は煮ても焼いても無くなりません。低い汚染のガレキでも焼いて残った飛灰から高濃度の放射性セシウムが検出される可能性があります。
- 飛灰の放射性セシウムは約33倍に濃縮されるといわれています。（*）

* 環境省資料『災害廃棄物の広域処理の推進について』より

4 放射性物質は、従来のバグフィルターでは漏れてしまう

- 放射性物質は従来のバグフィルターではもれてしまい、焼却炉煙突から大気中に放射性物質が放出される可能性があります。
- その空気を吸った住民は内部被ばくします。受け入れ総量は莫大なものであるから、放射性物質も相当量が放出されてしまいます。

* 東京新聞2012年1月21日付け記事より。また、日本弁護士連合会2011年9月20日付け『放射性汚染物質対処法施行に当たっての会長声明』より

5 保管は極めて困難

- 高濃度の放射性セシウムが含まれる灰の保管は極めて困難です。屋根や外周遮断設備をもつ処分場を設け、100年以上にわたり管理していく必要が生じ、富山県内自治体にとって計り知れない負担となります。

* (独) 国立環境研究所資料『一時保管と最終処分』参照

6 お金の流れが不明朗

- ガレキ処理には利権が絡んでいるようです。実際、東京のガレキ焼却を請け負っているのは、東京電力の子会社です。（*）
- 莫大な処理費用には国税が使われます。利権を持つ業者のみがうるおうこととなります。

* nanohana ナノハナ 地球と七代先のこどもたちを元気にしていく情報発信サイト『抗議殺到でも受け入れ表明が後を絶たない本当の理由 ガレキ受け入れは利権』<http://nanohana.me/?p=11848>、及び、危機管理ジャーナリスト新井哉ブログ『東京「汚染ガレキ処理」、「利権」優先か』<http://ameblo.jp/kikikanri-h-arai/entry-11125288359.html>参照

7 世界が批判の声をあげています

- 「ガレキの移動焼却は自国民を放射能汚染にさらすという政府が行う犯罪的行為である」* 欧州放射線リスク委員会
- 「汚染ガレキと普通ガレキを混合して放射能値を基準内にうすめるという行為は国際合意違反である」* ドイツ放射線保護協会
- 「チェルノブイリでも汚染物質は移動せず今も置き去りである。世界で最初の暴挙だ」「低放射能放出での内部被ばくでの健康被害はむしろ大きい」* カナダ、欧州各国研究者
- 「太平洋を越えた放射能によって米国の牛乳が汚染されている。ガレキの移動・焼却によって日本はこれ以上世界を汚染しないで欲しい」

* 米国民団体「エコロジカル・オプション・ネットワーク」
※同団体は2011年12月29日に「ガレキの拡散・焼却の差し止め1万人署名」をサンフランシスコ日本領事館に提出した。

放射能汚染されたガレキを富山県内で燃やさないで下さい！

国が進める東日本大震災により生じた災害廃棄物（ガレキ）の広域処理計画について、

石井知事・森市長は、福島第一原子力発電所の事故により放射能汚染されたガレキの受け入れや焼却を認めないで下さい。

【要望理由】

私達は富山県内でガレキを燃やすこと、焼却灰を埋めることに反対します。

富山県では 3,000m を超す分厚く高い山脈が県境を隙間なく囲んでいるため、福島第一原発事故の放射能汚染から奇跡的にまぬがれた土地なのです。立山連峰が守ってくれた地を、新たに放射能で汚染させてはならないと思います。

放射性物質は、宮城にも岩手にも大量に飛散しています。放射能を帯びたガレキを受け入れて燃やせば、大気中に放出された放射性物質により富山の自然が汚染され、ここに住む私たちも被ばくすることになります。富山の農産物や海産物を守り、安全な食料を東日本に供給すること、被災地からの安全な避難場所であり続けることこそが富山県からの真の支援ではないでしょうか。

また幼い子どもやこれから子どもを産む母親にさらに不安を与えることのないよう、ガレキを燃やさないで下さい。

- ①ICRP の基準策定の当事者自らが「低線量なら健康被害はほとんどないとする国際基準には、何の科学的根拠もない」と証言しています。（*1）
- ②低い汚染のガレキでも焼却すると濃縮され、飛灰の放射性セシウムは約33倍に濃縮されるといわれています。（*2）
- ③放射性物質は従来のバグフィルターではもれてしまい、焼却炉煙突から大気中に放射性物質が放出される可能性もあります。（*3）その空気を吸った住民は内部被ばくします。受け入れ総量は莫大なものであるから、放射性物質も相当量が放出されてしまいます。
- ④汚染された廃棄物の放射性セシウムは、通常の埋め立て処分では環境へ放出されてしまい、地下水や土壌を汚染します。その保管は極めて困難です。100年以上の間、放射性物質を封じ込め、環境への放出を防止しなければなりません。（*4）

（*1）NHK番組『低線量被ばく 揺らぐ国際基準』では、「低線量被曝による健康被害はほとんどないとする国際基準 ICRP には、何の科学的根拠もない」ことが報道されました。

（*2）環境省資料『災害廃棄物の広域処理の推進について』より

（*3）東京新聞2012年1月21日付け記事より。また、日本弁護士連合会 2011年9月20日付け『放射性汚染物質対処特措法施行に当たっての会長声明』より

（*4）（独）国立環境研究所資料『一時保管と最終処分』より

記

以上の理由により、富山県内に災害廃棄物（ガレキ）を持ち込んだり、富山県内で焼却・埋め立てをしないで下さい。ガレキ受け入れ計画を断念され安心して暮らせる富山県のために行動されますよう、署名を添え要望いたします。

署名団体名：「放射能から子どもを守ろう in 富山」 <http://ameblo.jp/savechildtoyama/>

問合せ：savechildtoyama@yahoo.co.jp

氏名	住所

※切り：状況を鑑みながら、出来る限り早急に、随時提出していきます。ご協力お願いいたします。

署名の送り先：〒939-8799 郵便事業株式会社 富山南支店留め 「放射能から子どもを守ろう in 富山」宛

※この署名により頂く個人情報は、この署名を富山県知事・富山市長に提出するためだけに使用し、それ以外の目的のためには一切使用しません。提出までの期間は適切かつ厳重に責任をもって保管させていただきます。

※コピーや FAX は無効、『同上』という書き方も無効となります。住所は番地まですべてお書きください。年齢制限はありません。